

個人投資家の皆さまへ

PASSION
FOR THE
BEST

大和証券グループの 経営戦略

2025年9月2日

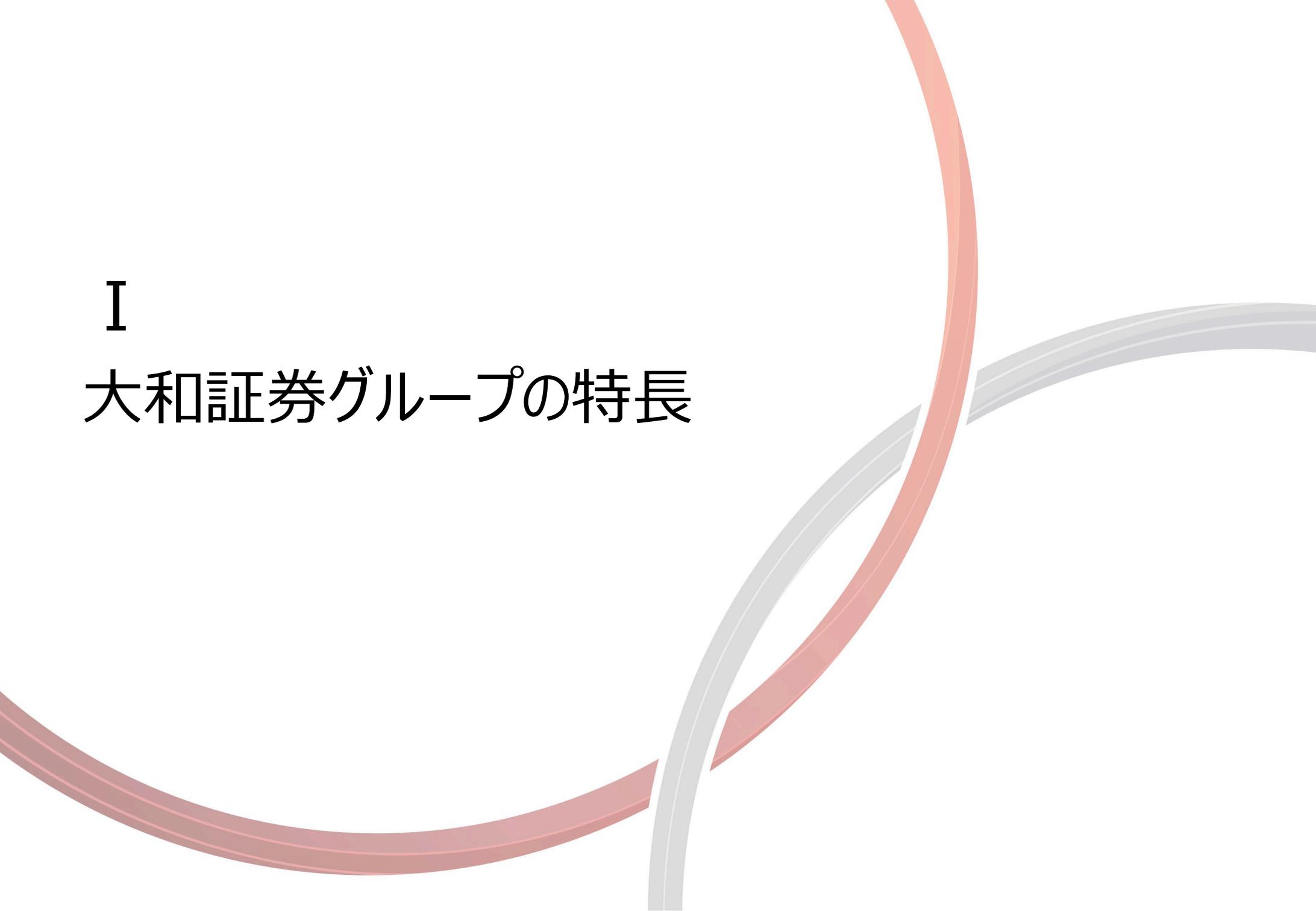
株式会社大和証券グループ本社
常務執行役 CFO 吉田 光太郎

本資料は、2025年度第1四半期までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年8月20日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

Daiwa Securities Group Inc.

I - 大和証券グループの特長	3
II - 「お客様の資産価値最大化」に向けて	7
III - サステナビリティ	20
IV - 株主還元	23
ご参考資料	27

I 大和証券グループの特長



大和証券グループの概要

拠点網

国内**182**カ店の店舗網
世界**22**カ国・地域の拠点



※ 2025年3月末時点

連結人員数

1万5,558人



※ 2025年6月末時点

預り資産残高（大和証券）

93.8兆円



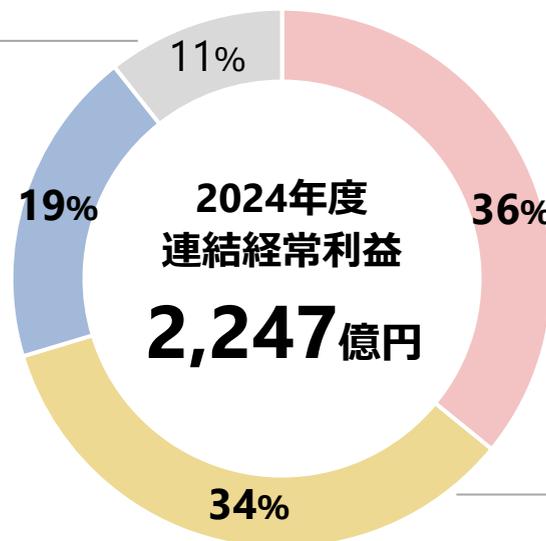
※ 2025年6月末時点

その他

238億円

グローバル・マーケット&
インベストメント・バンキング部門

427億円



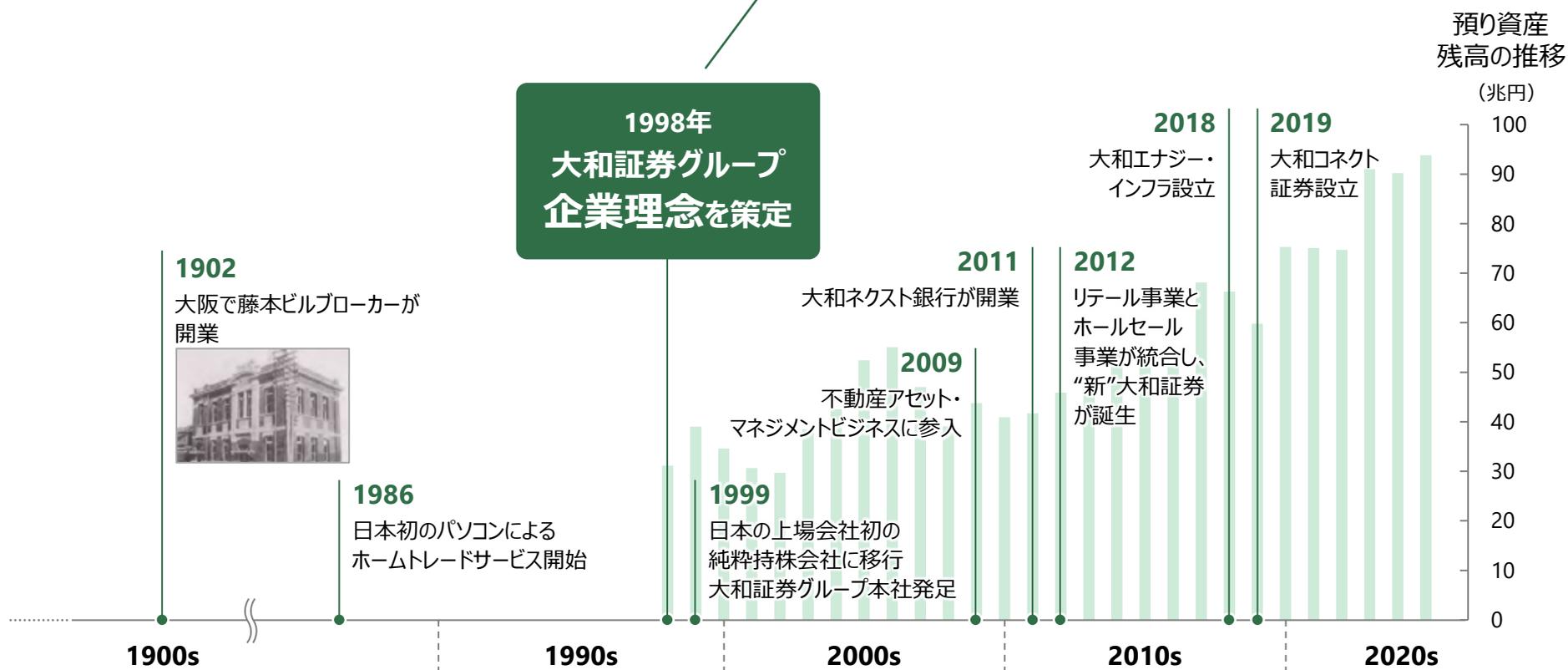
ウェルスマネジメント部門

806億円

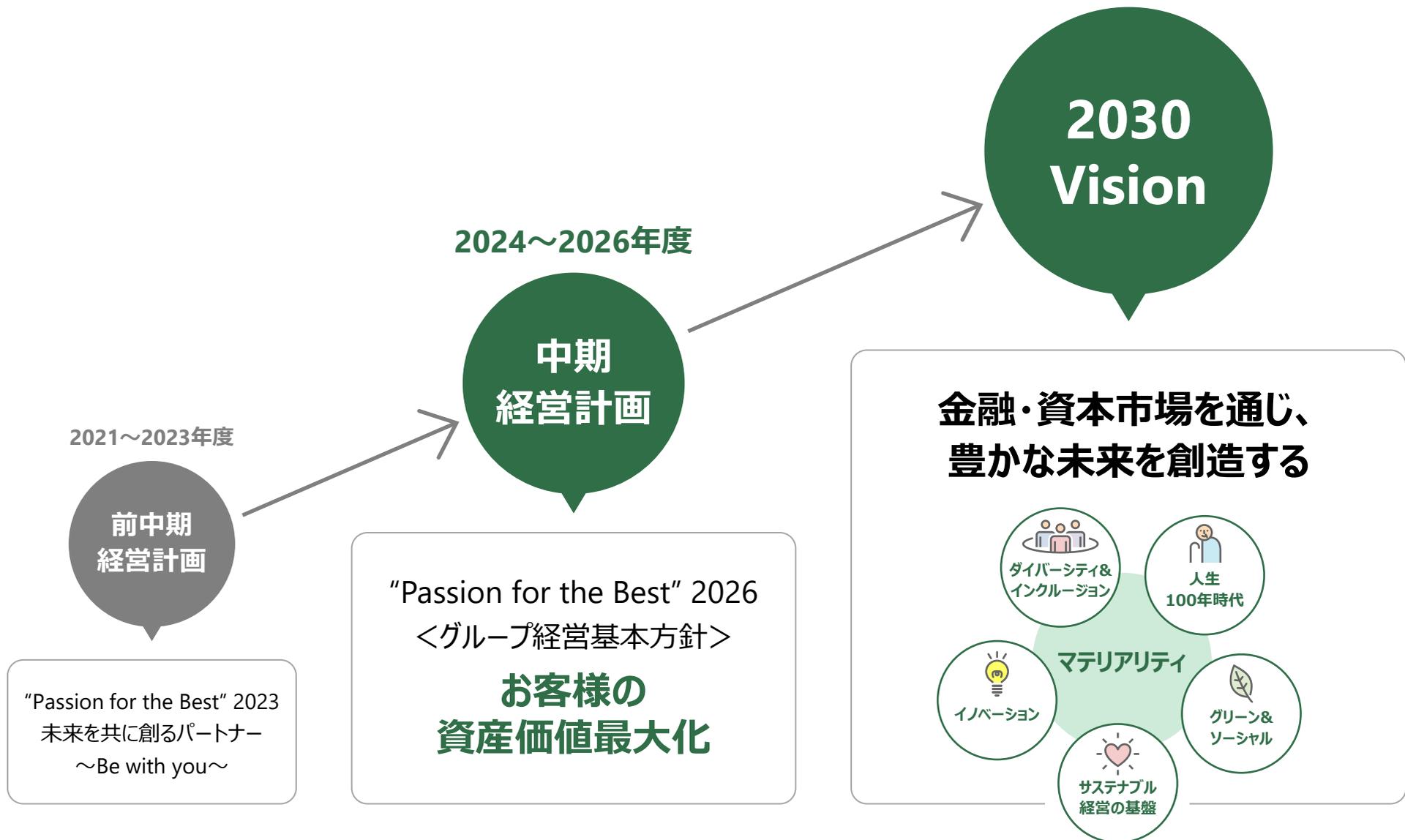
アセットマネジメント部門

774億円

大和証券グループのあゆみ

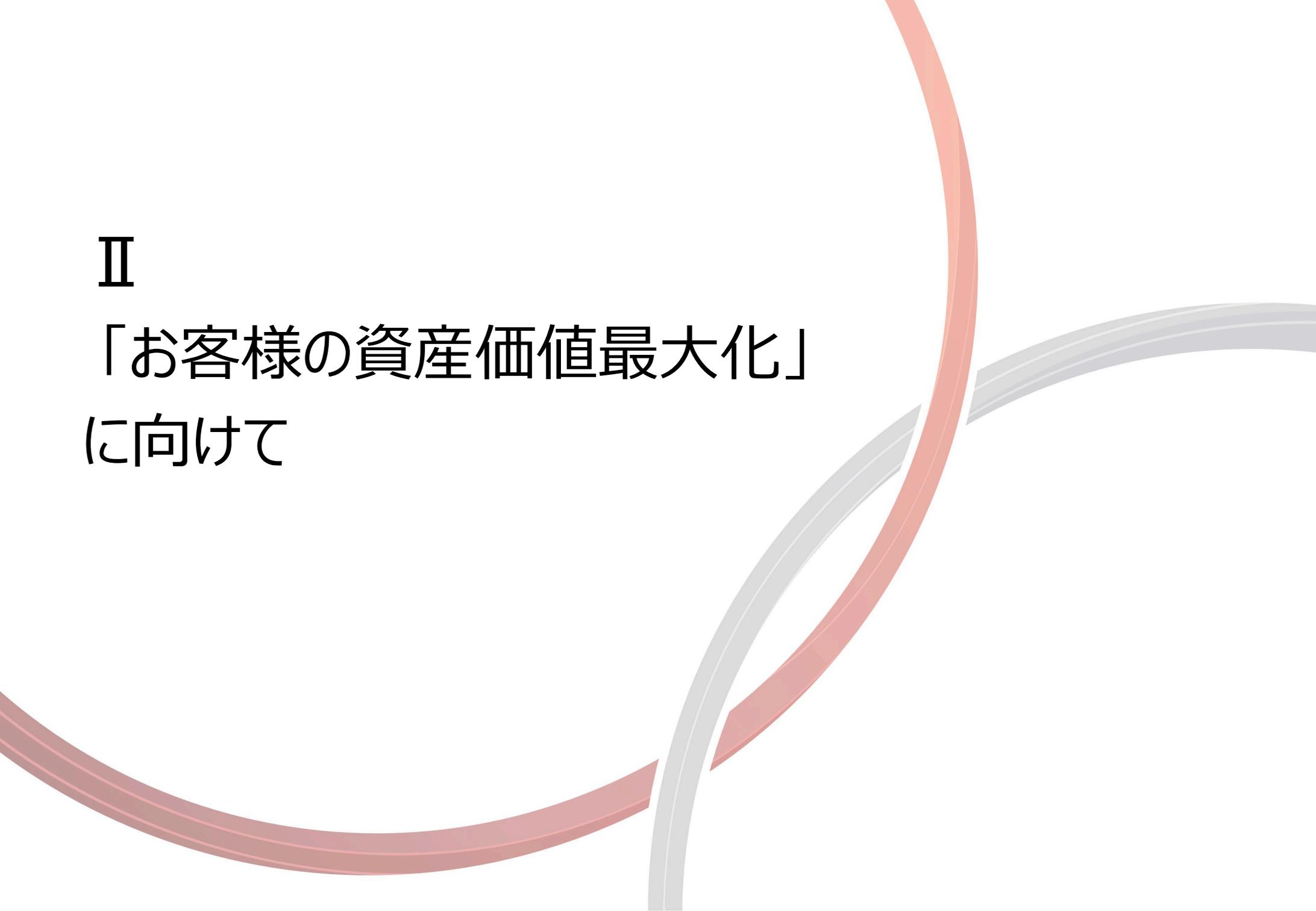


2030年に向けたビジョン



Ⅱ

「お客様の資産価値最大化」
に向けて

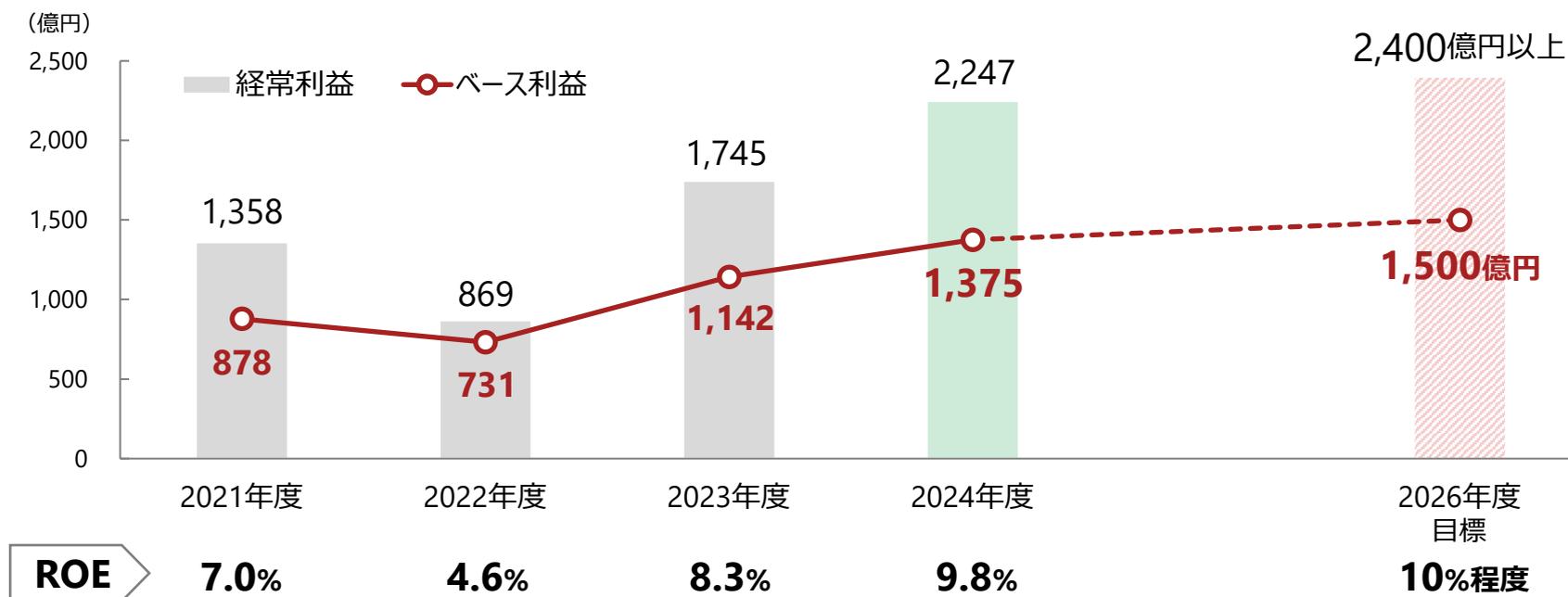


中期経営計画1年目の総括

予見性の高いベース利益は、
想定を上回るペースで進捗

業績KPI	2024年度実績	2026年度目標
経常利益	2,247億円	2,400億円以上
ROE	9.8%	10%程度
ベース利益*	1,375億円	1,500億円

※ ベース利益：ウェルスマネジメント部門、証券アセットマネジメント、不動産アセットマネジメントの経常利益合計

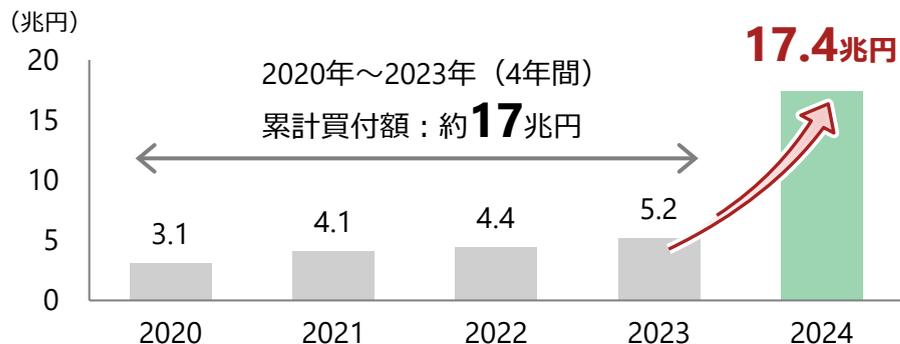


当社を取り巻く環境

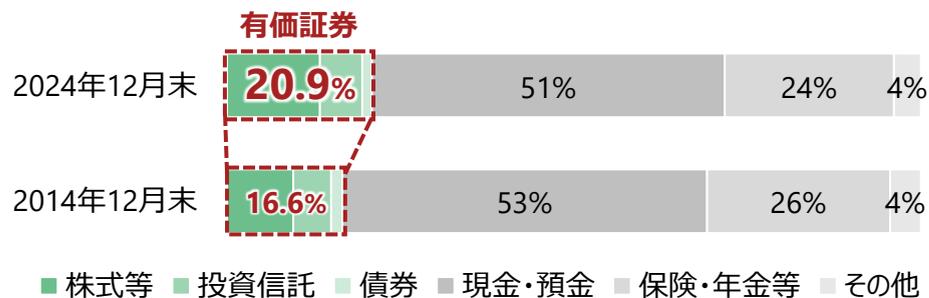


「貯蓄大国」から「投資大国」へ
～動き出す日本の個人資産～

金融機関におけるNISA買付額推移



家計の金融資産構成比



企業マインドの転換
～成長への意識改革～

東証上場企業数と上場廃止数の推移

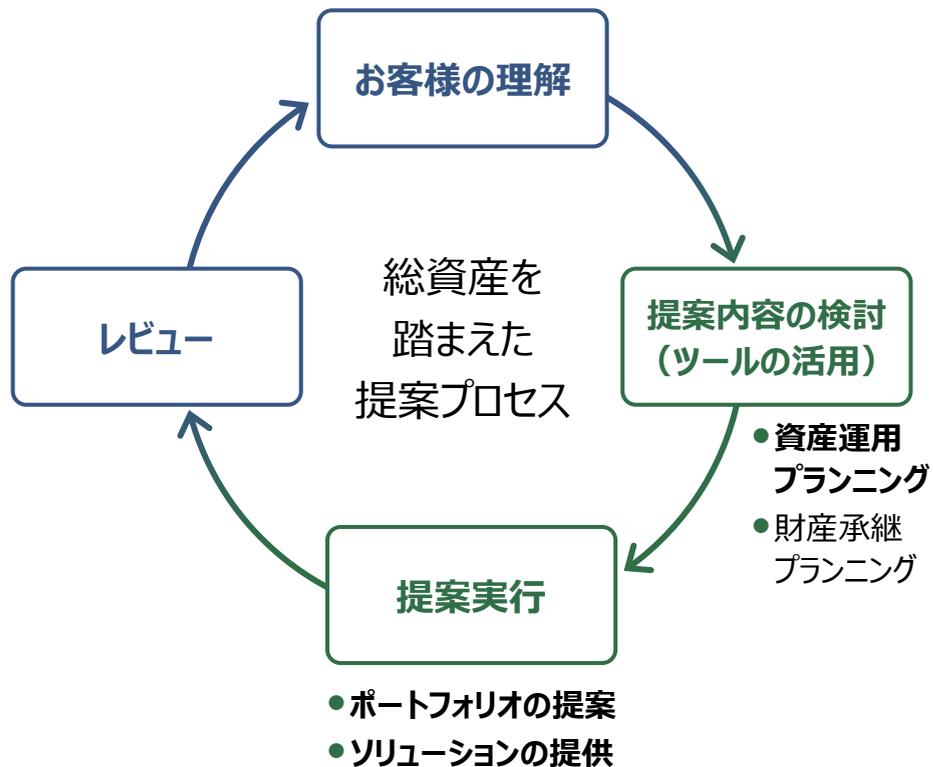
(除くTOKYO PRO Market)



お客様の総資産に対するコンサルティング

総資産コンサルティングに必要な「お客様の状況や課題」をより深く理解

総資産コンサルティングのループ



資産運用プランニングの活用

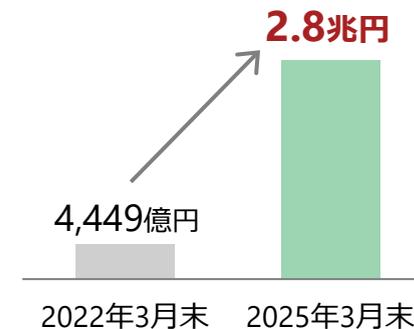
ご提案例



分析件数

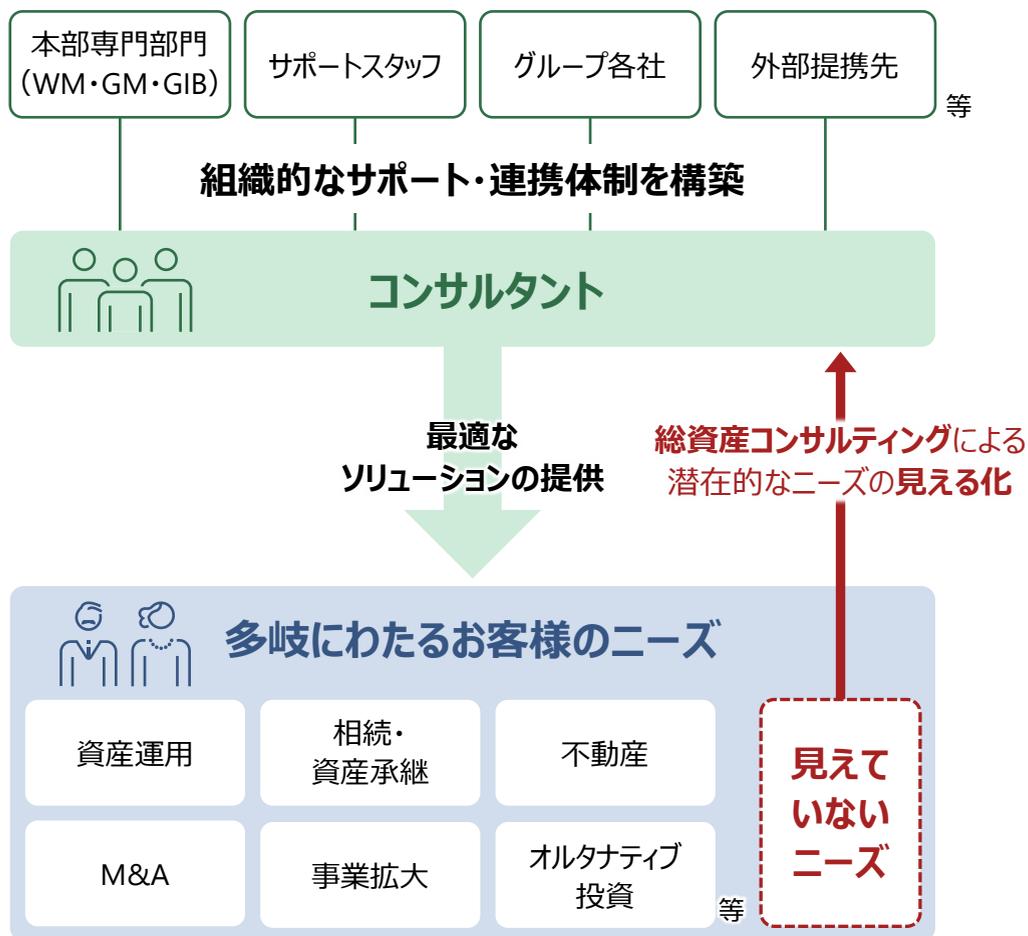


他社資産導入実績



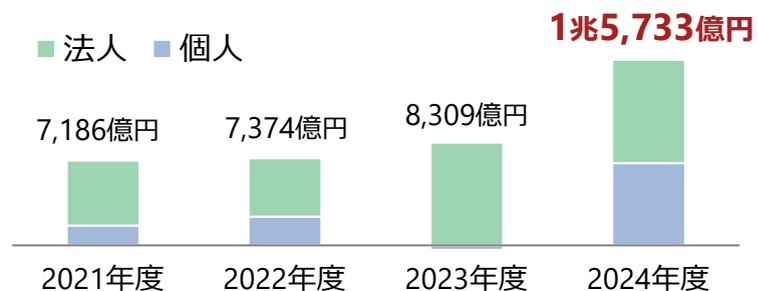
最適なソリューションの提供

お客様のニーズや課題を的確に捉えた提案活動が、満足度向上にも寄与



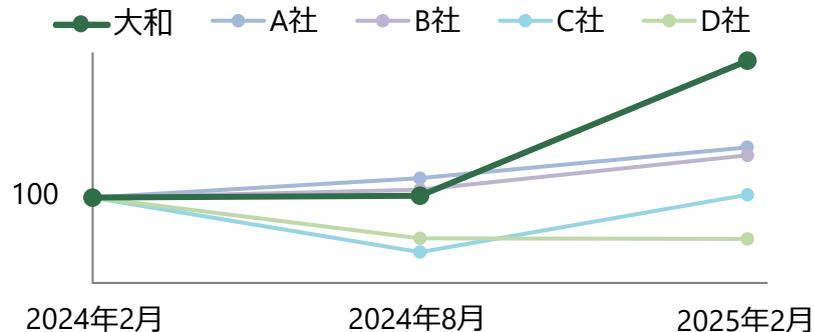
お預かりする資産の拡大

<ウェルスマネジメント本部（大和証券）の資産導入額>



お客様満足度の向上

<NPS®（指数化）の対面証券5社比較※1>



先端デジタル技術の活用

お客様の更なる満足度向上のため、生成AI等のデジタル技術を活用



生成AIを活用したお問合せサービス

2024年10月 | 「AIオペレーターサービス」 提供開始

- 国内大手金融機関 **初***の試み
- これまで**20万件**を超えるご利用
- お客様をお待たせせずに**、
マーケット情報から事務手続きに関する
内容まで広範に対応可能し、**お客様の利便性向上**



2025年6月 | 「大和証券生成AIチャット」 提供開始



大和証券
生成AIチャット

よくあるご質問は
チャットで解決!



お客様よりご入力いただいたご質問に対し、
生成AI（人工知能）が適切な回答を検索し、
チャット形式でご案内するサービスを6/23より開始



お客様との面談内容の自動記録

2025年1月

生成AIと音声認識を活用した
お客様対応の自動記録システムを導入

時間削減効果

入力時間 ▲**45%**

記録業務の効率化

コンサルティング内容の検討
お客様接点の増加

お客様の満足度向上に
向けた活動へ一層集中

内容の充実化

文字数 **+311%**

お客様とのやり取りの
適切な記録

透明性のある
コミュニケーション

お客様の安心感向上



グループ各社の強みと連携

グループ各社との連携強化を通じ、シナジーの創出を目指す

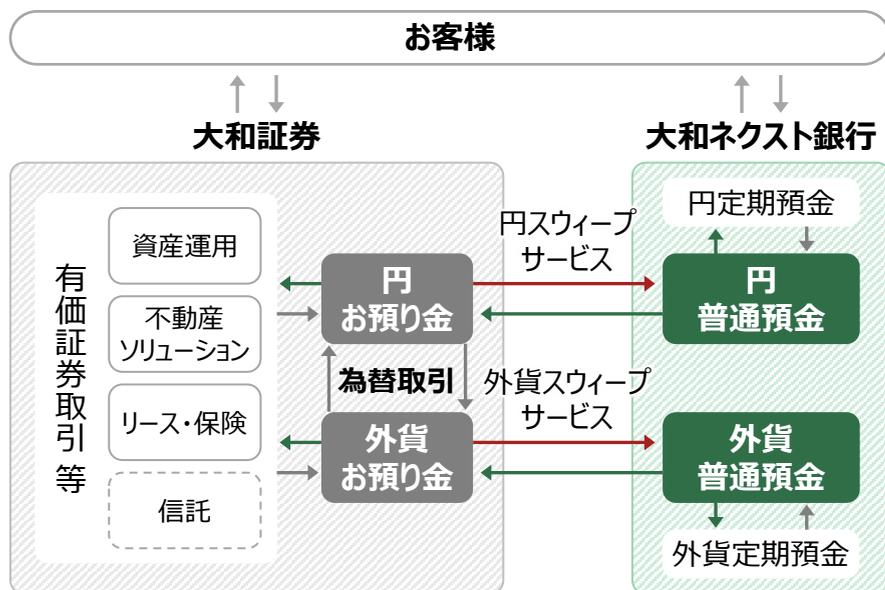


© '25 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L662354

大和ネクスト銀行

Daiwa Next Bank

2010年 設立 2011年 開業



円預金残高 **3.6兆円**

外貨預金残高 **0.6兆円**

※2025年6月末時点

大和コネクト証券

2020年 スマホ専門証券として開業

<主な取組み>

デジタルネイティブ
世代の獲得

新NISA・積立投信
の推進 等

取引活性化

積立投資サービスの
強化・取引継続化 等

社内外企業との連携

グループ各社との
相互送客 等

Fintertech

2018年 最先端のテクノロジーを活用した次世代
金融サービスの創出を目的に設立

<主なサービス>

デジタルアセット担保ローン

デジタルアセットステーク

Funvest^{※1}

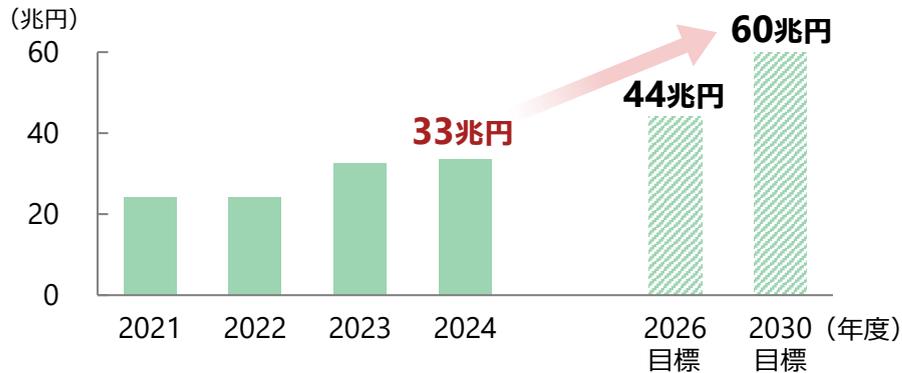
KASSAL^{※2}

不動産投資プライムローン

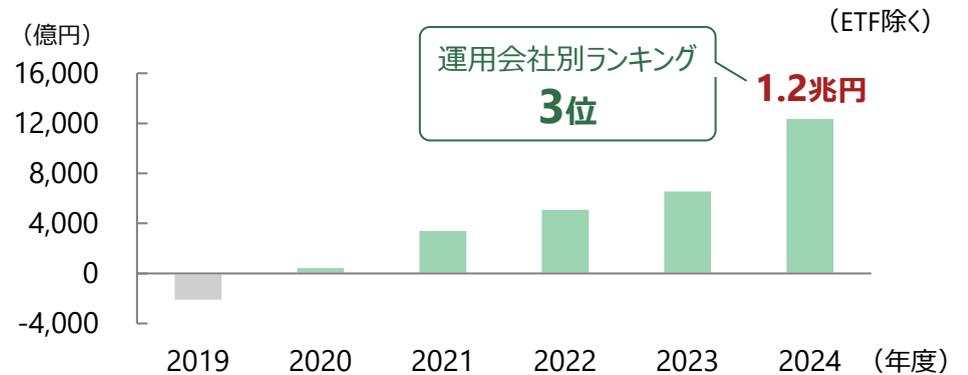
証券アセットマネジメント

「貯蓄から投資へ」の流れの加速及び特色ある商品ラインナップの提供により、運用会社の大和アセットマネジメントにおける運用資産残高の拡大を目指す

運用資産残高 (AUM) の拡大を推進



公募株式投資信託への資金流入が継続



2024年5月 かんぽ生命保険との資本業務提携



魅力あるオルタナティブファンドのラインナップ拡充

2025年2月

「ダイワ・ブラックストーン・インフラストラクチャー・ファンド」の取扱いを開始



2025年4月

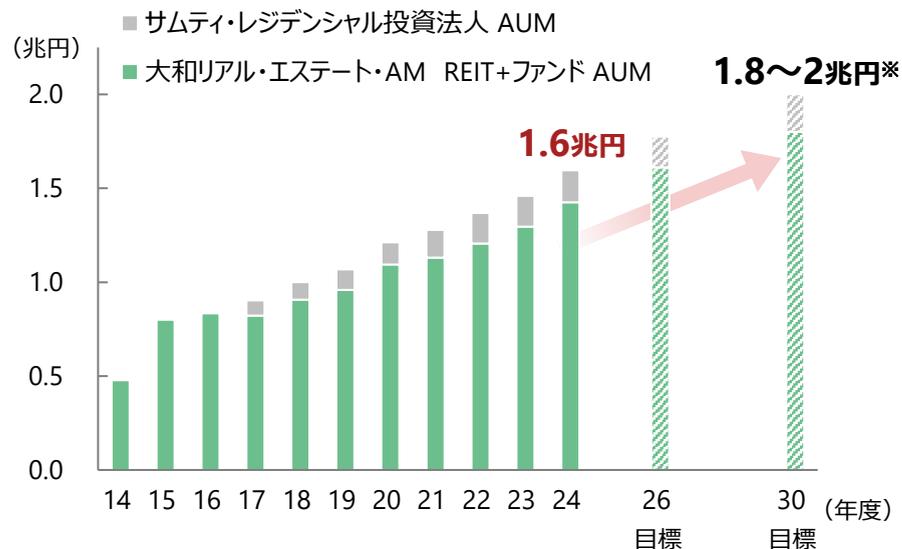
「KKRプライベート・マーケット・エクイティ・ファンド」の取扱いを開始



不動産・オルタナティブ アセットマネジメント

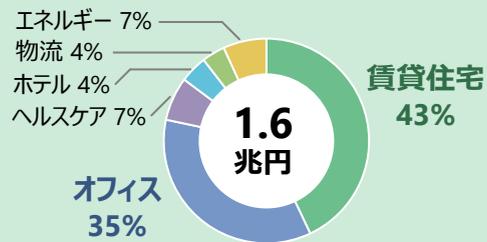
不動産

運用資産残高 (AUM) の 拡大を推進



運用資産の
タイプ別比率
(2025年3月末時点)

賃料 ↗



オルタナティブ

自己資金による投資から、 外部資金導入によるファンドビジネスへ

大和PIキャピタル

260億円のファンドを組成

<現在の投資先>

Dream Capsule

カプセル自販機、
アミューズメント機器の設置運営



広島のパワースタイル、ショッピングモールを
中心に展開するラーメンチェーン

大和PIパートナーズ

Daiwa PI Partners

古河電工への白山の譲渡



譲渡

大和エナジー・インフラ

Daiwa Energy & Infrastructure

出資先の英国配電会社の売却



2019年に取得
英国で配電事業を行う



一部売却

スペインのエネルギー企業



高い情報提供力・大型案件の遂行力

ウェルスマネジメント部門のお客様に向けたサービス及びソリューションの提供

GM

不安定な相場環境でも
骨太のマーケットストーリーを配信



投資情報レポートの発行



YouTubeでマーケット概況を毎日配信



GIB

多数の大型案件に関与

2025年3月 ゆうちよ銀行・PO (売出し)



- 売出総額：5,920億円
- 2024年度最大のエクイティ案件

2025年3月 JX金属・IPO (新規公開)



- 売出総額：4,386億円
- 過去10年で4番目の規模

2024年7月 タイミー・IPO (新規公開)



- 売出総額：538億円
- ユニコーン*企業のオフリングとしては2024年度最大

DEALWATCH AWARDS 2024
「総合部門House of the Year」受賞

DEALWATCH
AWARDS 2024
CELEBRATING THE ACHIEVERS IN JAPAN'S CAPITAL MARKETS

LSEG

外部連携を通じた成長投資の推進

外部連携を通じ、お客様基盤の拡大や当社の機能強化・商品拡充を目指す



過去の主な取組み例

- 2019年度**
 - 日本郵政グループとの協業
 - Global Xとの合併会社Global X Japanを設立
 - サムティとの資本業務提携
- 2020年度**
 - 信金中央金庫との協業
 - 刀との資本業務提携
- 2021年度**
 - 四国銀行との包括的業務提携

2024年度に発表した主な取組み

- あおぞら銀行との資本業務提携  あおぞら銀行
- かんぽ生命との資本業務提携  かんぽ生命
- 岩手銀行との包括的業務提携  岩手銀行
- Airborne Capital Limited との資本業務提携  AIRBORNE CAPITAL  大和エアポーン
- Sky社との資本業務提携  Sky
- 三越伊勢丹グループ エムアイカードとの協業  ISETAN MITSUKOSHI MITOUS
- 三井住友トラストグループとの業務提携  三井住友トラストグループ
- 三井物産オルタナティブインベストメンツの子会社化

大和かんぽオルタナティブインベストメンツ
Daiwa JPI Alternative Investments



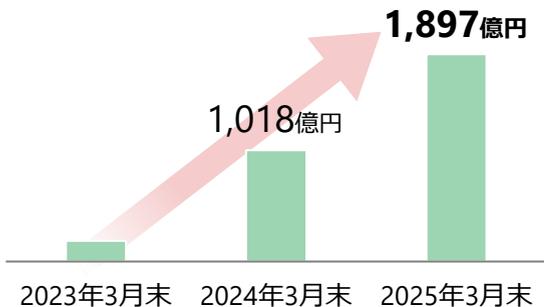
ウェルスマネジメント分野における外部連携

日本郵政グループとの協業



ゆうちょファンドラップ残高※1

(2022年5月取扱開始)



信金中央金庫との提携



「しんきんファンドラップ」取扱い信用金庫

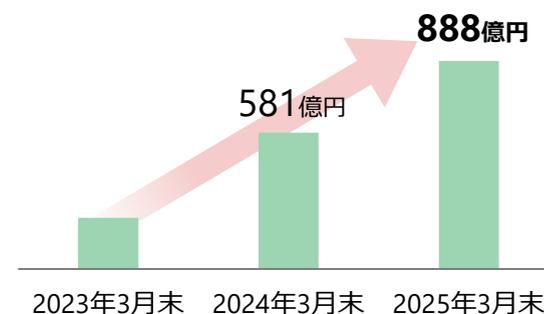


四国銀行との包括的業務提携



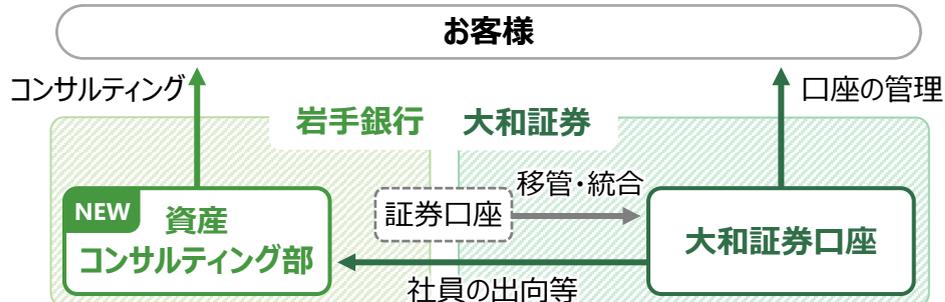
ファンドラップ残高※2

(2023年3月提携開始)



岩手銀行との包括的業務提携

岩手銀行 2026年4月に新たな協業体制を開始 (予定)



三越伊勢丹グループ エムアイカードとの協業

MICARD 2025年3月にエムアイカードが発表した金融サービスブランド「MITOUS (ミトウス)」を構成するサービスの一部で協業



CROWDFUNDING
Fintertechが提携し、サービス開始

資産運用コンサルティング
今秋サービス開始に向けて現在準備中

刀との資本業務提携 ～JUNGLIA OKINAWA～

沖縄北部の豊かな自然を舞台とした、大自然没入型のテーマパークを開業

エンターテインメント × 地域創生

7/25にグランドオープン！



JUNGLIAへのアクセス



Ⅲ サステナビリティ



社会貢献活動

金融経済教育や企業市民活動を通じて、持続可能な社会の実現に向けた役割を果たす

金融経済教育

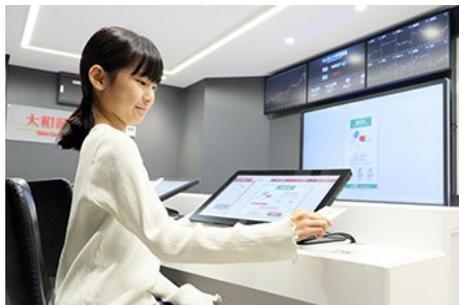
出張授業



教員研修受入



体験型コンテンツ（協賛）



教材の無償提供



企業市民活動



ダイワ・フローリッシュコミュニティ
みんなの手で

当社グループ役職員がボランティア活動や寄付等の社会貢献活動に取り組める環境を整備

交流活動@東京都立花畑学園



(大和証券グループ従業員組合主催)

震災時のボランティア



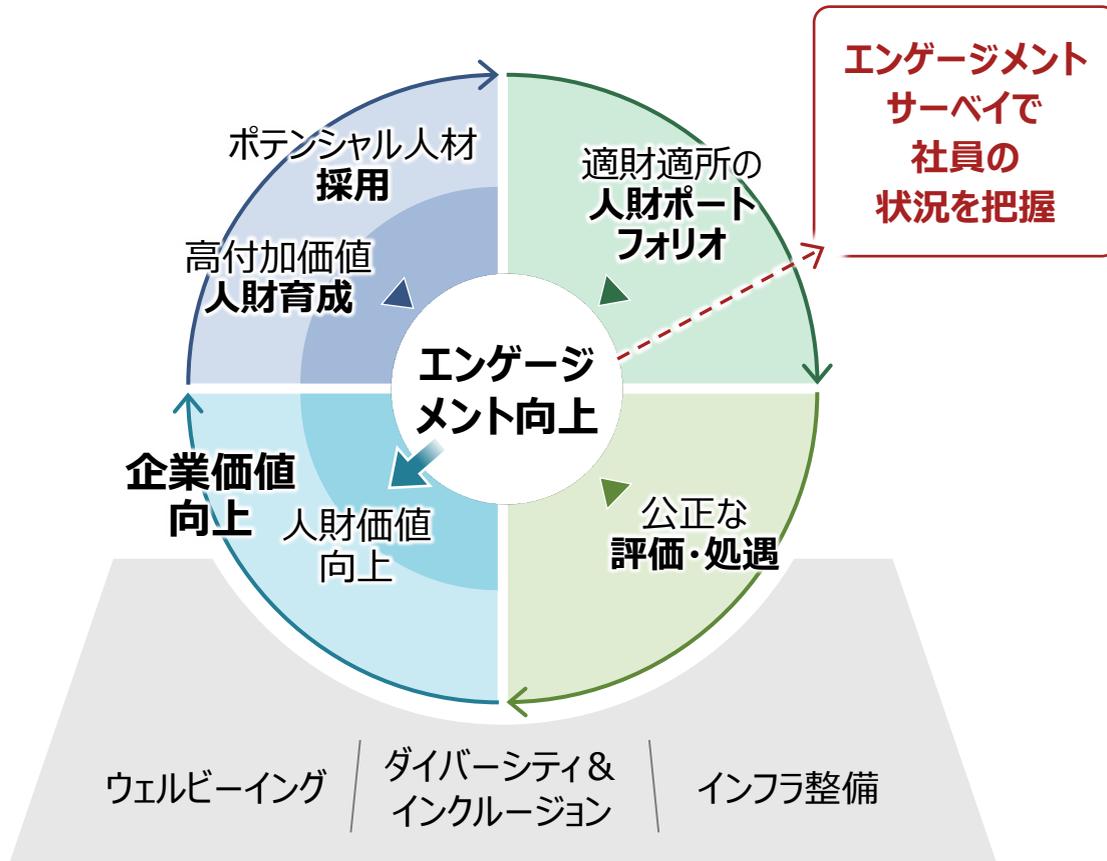
(大和証券グループ従業員組合主催)

サンタチャリティプログラム



働きがいのある職場づくり

社員のエンゲージメントを高め、人的資本の価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上に繋げる



エンゲージメントサーベスコア

グループKPI	2024年度実績
80%以上	81%

女性管理職比率 (大和証券)

2005年度末	2024年度末
2.8%	23.2%

女性活躍～なでしこ銘柄～

当社の選定は **10回目**



就職人気企業ランキング

文化放送キャリアパートナーズ
就職情報研究所
「就職ブランドランキング」

総合順位 **3位**※

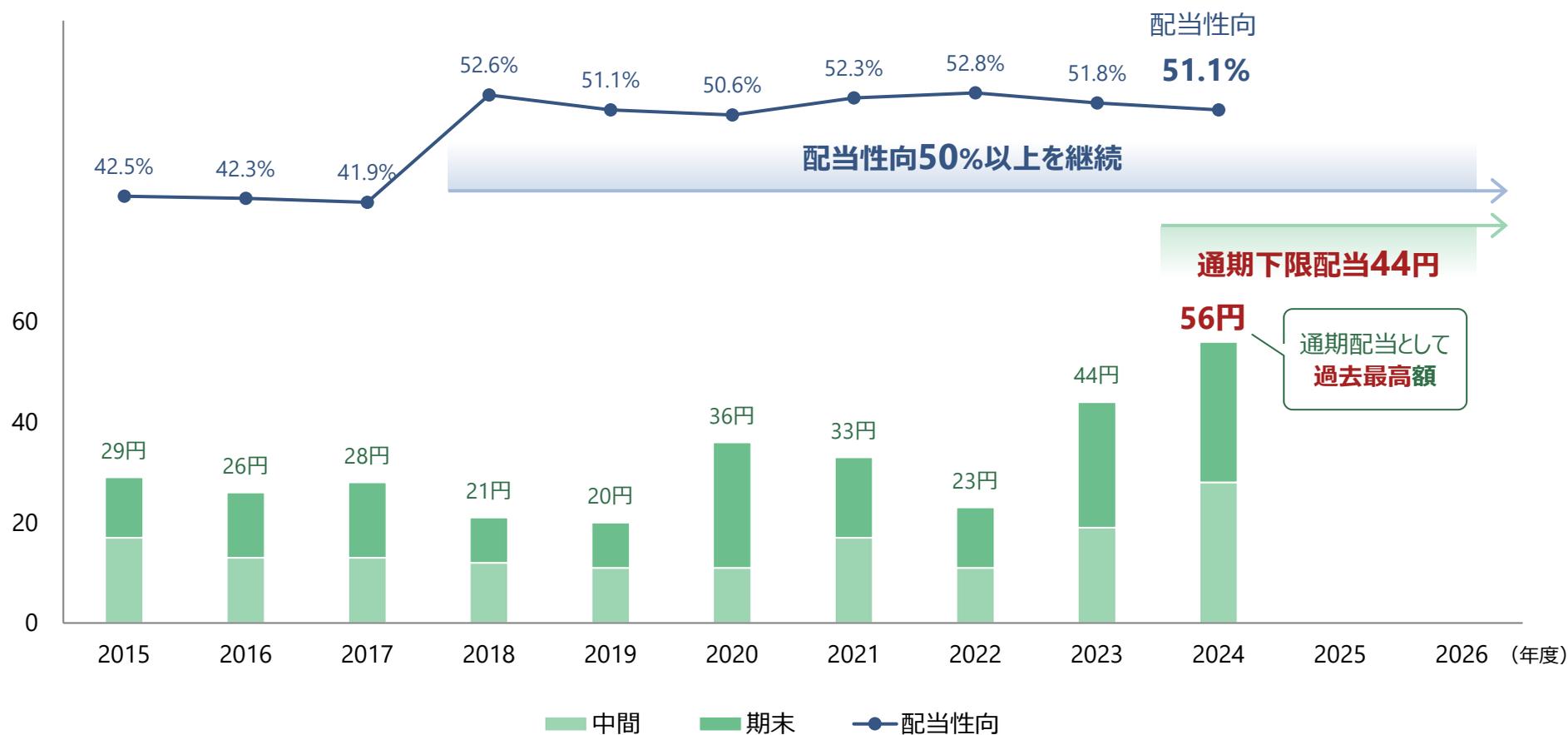
※ 2025年卒・前半

IV 株主還元



積極的な株主還元 | 下限配当の導入

2024年度から2026年度の中期経営計画期間中は、1株当たり配当金額は通期44円を下限と設定



株主優待の内容

優待品カタログから、好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

権利付き最終日は 2025年9月26日

保有株式数	優待品カタログ	選べる優待品数	優待品例
1,000～2,999株	 <p>2,000円相当</p>	1点	 
3,000～4,999株		2点	
5,000～9,999株	 <p>5,000円相当</p>	1点	 
10,000株以上		2点	

個人株主・投資家の皆さまへの情報発信



最新情報は当社IRウェブサイトをご覧ください

IRウェブサイト
「個人投資家の皆さまへ」

<https://www.daiwa-grp.jp/ir/digest/>



大和証券グループ公式
YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@DaiwaGroup>



The screenshot shows the top navigation bar with the company name and search options. The main heading is "個人投資家の皆さまへ" (For Individual Investors). Below it, there is a profile of the CEO, Akino Akio, with the text "株主・投資家の皆さまへ" (To Shareholders and Investors). A list of topics is provided with "詳しく見る" (View Details) buttons:

- 大和証券グループについて
- 個人投資家向け会社説明会について
- サステナビリティ推進について
- 業績について **NEW**
- 株主優待・配当金・株主總會
- 最新のIR資料 **NEW**

大和証券グループ
公式チャンネル
DAIWA INTERNET TV

The screenshot shows the YouTube channel page for "大和証券グループ公式チャンネル". It includes the channel name, subscriber count (6.99 million), and a list of recent videos:

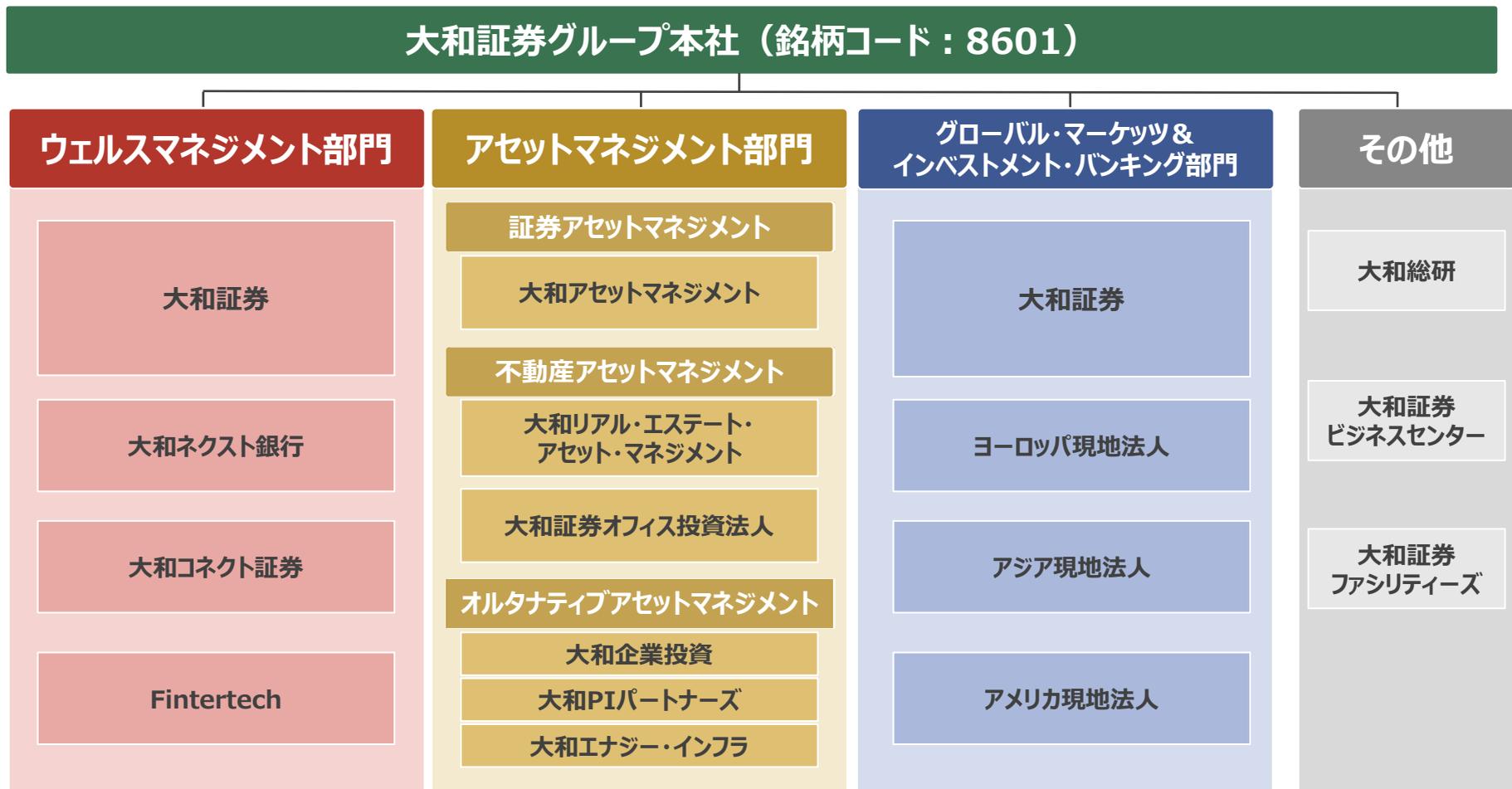
- 大和証券グループ本社 2025年度第1四半期決算説明 (1,578 視聴者)
- 大和証券グループ本社 2025年度第1四半期の記者会見の様子 (1,578 視聴者)
- 東京マーケット 前引 (8:30)
- 東京マーケット フロッシュ (8:58)
- ビットコインのリスク、リターン、相関の特徴 (2:37)
- 8:55 東京マーケット Daiwa LIVE 59 (19:30)
- NYマーケット (2:16)
- 東京マーケット 大引け (9:00)

ご参考資料



主要会社構成

持株会社である大和証券グループ本社が上場



大和証券グループ本社 決算概要



2024年度の連結経常利益は2005年度以来初めて2,000億円を突破

グループ連結業績	2025年度 第1四半期	前年同期比	前四半期比	2024年度 累計
純営業収益	1,552億円	+4.1%	-10.9%	6,459億円
経常利益	437億円	+15.8%	-14.3%	2,247億円
親会社株主に帰属する純利益	312億円	+30.2%	+4.3%	1,543億円
ROE（年換算）	7.7%			9.8%

純営業収益（億円）



経常利益（億円）



大和証券グループ本社 株価推移

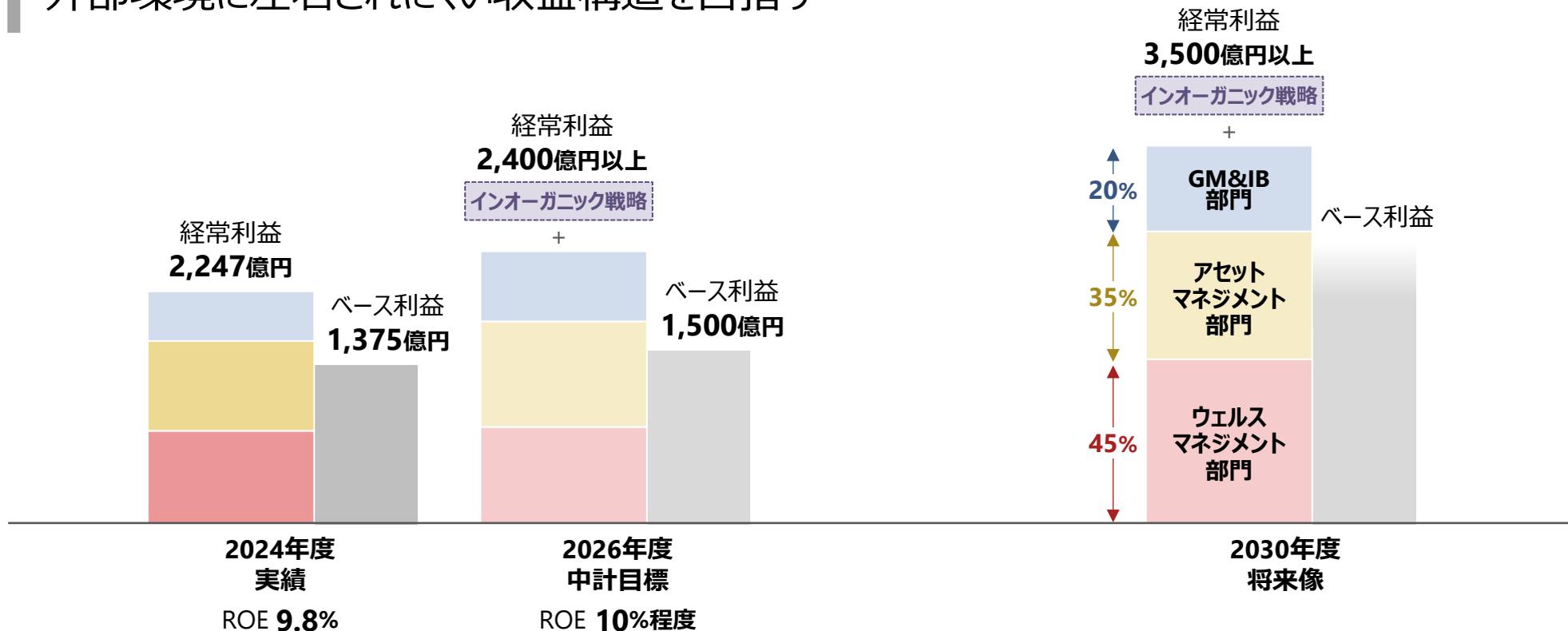


2025年8月20日時点の当社株価（終値）は1,137円



2030年度の利益構成イメージ

外部環境に左右されにくい収益構造を目指す



- ウェルスマネジメントビジネス強化：2030年度セグメント経常利益1,400億円、ウェルスマネジメント本部（大和証券）の経常利益1,100億円以上へ
- アセットマネジメントビジネス高度化・変革：2030年度AUM 60兆円以上へ
- 経営資源のリアロケーションと管理高度化
- 非連続な成長戦略の推進（外部連携・M&A・成長投資）

2026年度に向けた数値目標 | グループKPI

	2026年度 目標	2024年度 実績	全社	WM	AM	GM&IB
業績	経常利益	2,400億円以上	2,247億円	●		
	ROE	10%程度	9.8%	●		
	ベース利益 ^{*1}	1,500億円	1,375億円		●	●
お客様資産	預り資産 ^{*2}	120兆円	90.2兆円		●	●
	ストック関連資産 ^{*3}	13.6兆円	9.8兆円		●	
	AM部門AUM ^{*4}	44兆円	34.9兆円			●
デジタル	デジタル案件価値創出件数 ^{*5}	10件	2件	●		
	デジタル案件トライアル件数 ^{*6}	50件	45件	●		
サステナビリティ	SDGs関連債リーグテーブル	2位以内	1位			●
	エンゲージメントサーベイスコア	80%以上	81%	●		
	自社の温室効果ガス排出量 ^{*7}	2030年度 ネットゼロ	2,725 t-CO ₂ e	●		
	投融资ポートフォリオの温室効果ガス排出量 ^{*7}	2030年度 186~255 g-CO ₂ e/kWh	243 ^{*8} g-CO ₂ e/kWh	●		

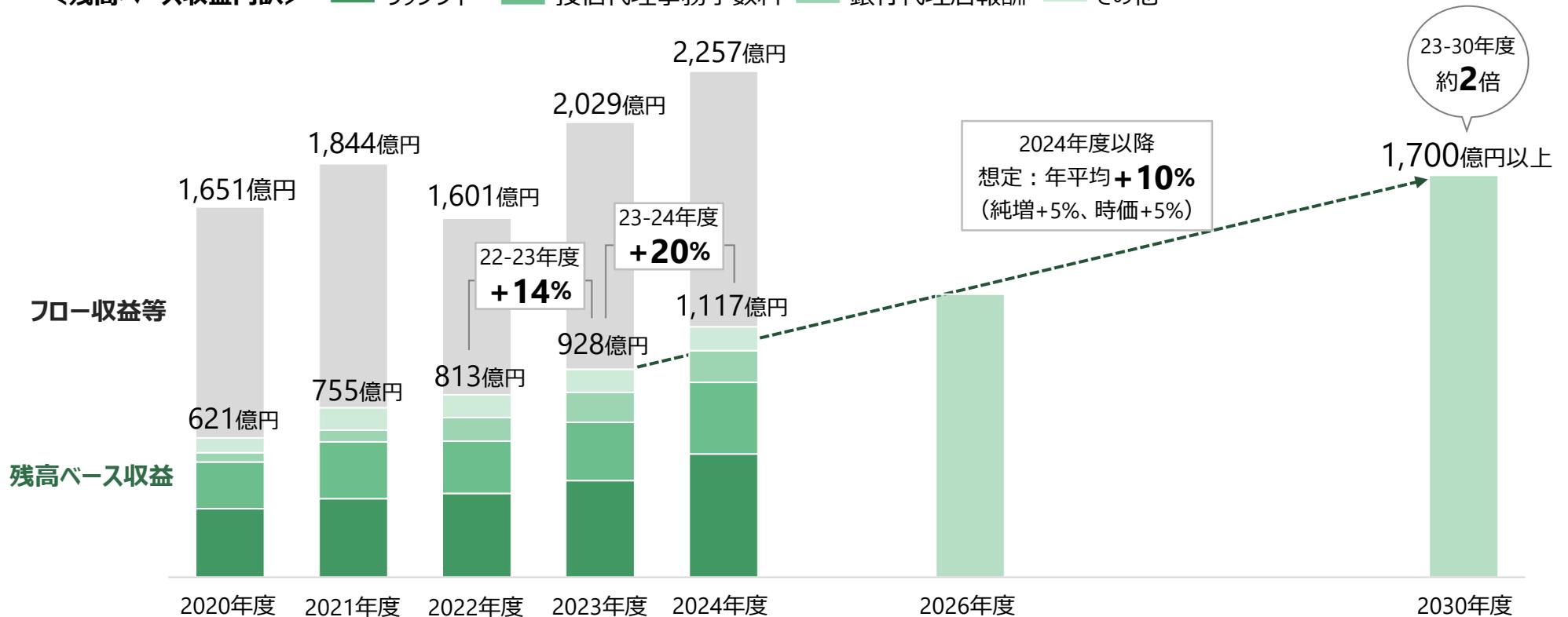
*1 ベース利益は、WM+証券AM+不動産AMの経常利益額合計。このうちWMは、旧リテール、大和ネクスト銀行、大和コネクテッド証券、Fintertechの経常利益の単純合算
 *2 預り資産残高は、大和証券の預り資産残高
 *3 スtock関連資産残高は、投信、ファンドラップ、外貨預金
 *4 AM部門AUMは大和アセットマネジメント、大和ファンド・コンサルティング、大和リアル・エステート・アセット・マネジメント、サムティ・レジデンシャル投資法人、大和PIパートナーズ、大和エナジー・インフラ、大和企業投資のAUM合計
 *5 デジタル案件価値創出件数は、新しいデジタル技術を活用している案件で、かつ新規性があるもしくはビジネス変革に資する案件をカウント
 *6 デジタル案件トライアル件数は、DX案件とAI・データサイエンス案件のトライアル件数をカウント
 *7 自社の温室効果ガス排出量はScope1+Scope2の合計（マーケット基準）。投融资ポートフォリオの温室効果ガス排出量の対象は、電力セクターへのプロジェクトファイナンス。一部推計値を含む
 *8 2023年度実績

ウェルスマネジメント部門

2030年度に向けて残高ベース収益・フロー収益ともに力強く成長

ウェルスマネジメント本部（大和証券）における成長イメージ

＜残高ベース収益内訳＞ ■ ラップフィー ■ 投信代理事務手数料 ■ 銀行代理店報酬 ■ その他



資産管理型ビジネスモデルの確立・
お客様満足度向上を中心に据えた営業改革

「お客様の資産価値最大化」に向けた総資産コンサルティング

ウェルスマネジメント部門：ファンドラップのポテンシャル

ダイワファンドラップの訴求ポイント

1 お客様の想いに寄り添ったコンサルティング

「CFP®」
資格保有者数

国内金融機関No.1*1
1,677人

相続
コンサルタント

相続贈与の実務経験が
豊富な相続コンサルタント
197人
を全支店に配置*1

2 豊富な商品ラインナップ・サービス

お客様ごとの
最適なポートフォリオ

運用スタイル数
700通り以上

相続対策に有効な
付帯サービス

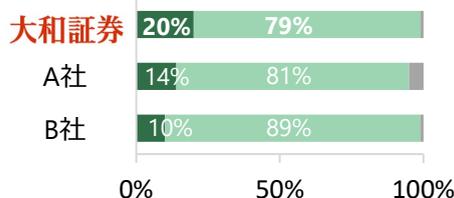
相続時受取人指定サービス
贈与サポートサービス

3 良好なパフォーマンス実績

各社の運用損益別顧客比率*2

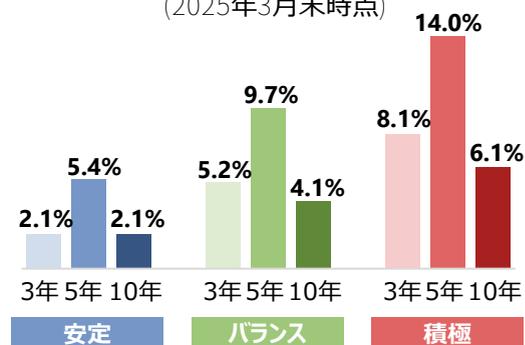
(2024年3月末時点)

■ 損益が30%以上プラスのお客様
■ 損益がプラスのお客様

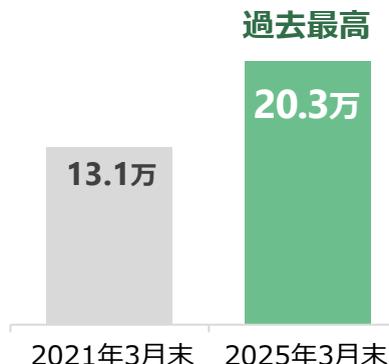


手数料控除後の年間平均リターン

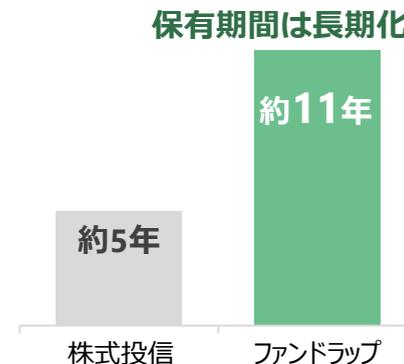
(2025年3月末時点)



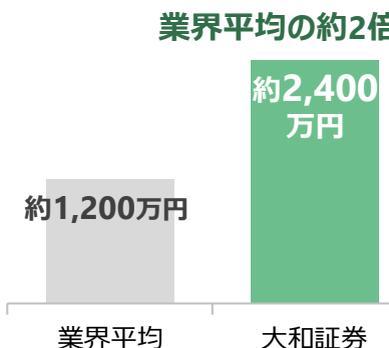
契約口座数



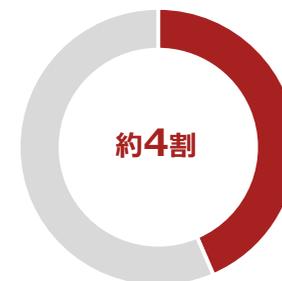
平均保有期間*3



1契約あたり残高*4



新規契約の割合*5



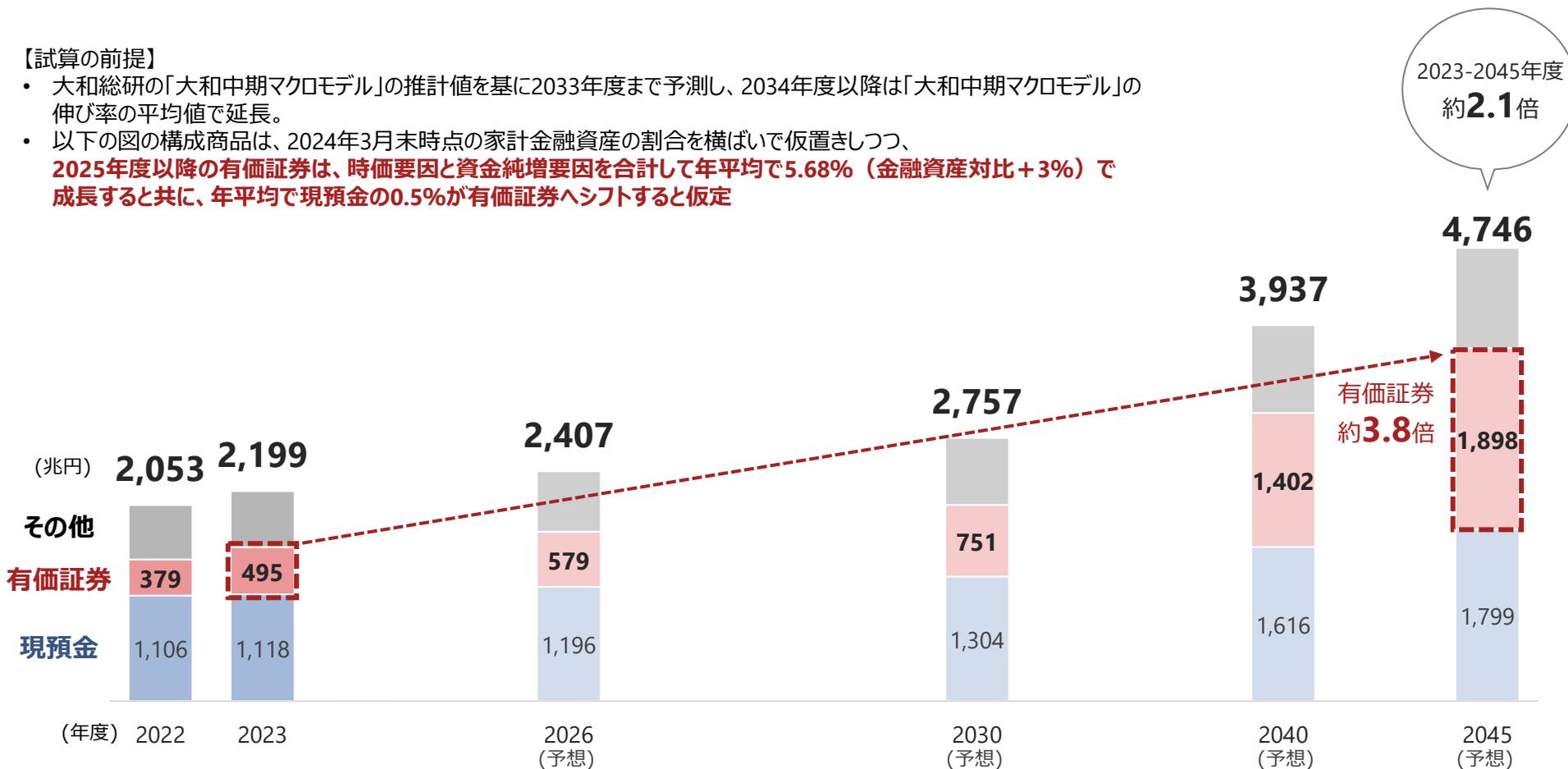
*1 2025年3月末現在。CFP®とは、ファイナンシャル・プランナーの上級資格 *2 各社ホームページで公表されている「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」におけるファンドラップの運用損益別顧客比率（2024年3月末時点）に基づき、大和証券作成 *3 2025年3月末時点、株式投信平均保有期間は大和証券の実績値 *4 2024年12月末時点のラップ口座のデータ。一般社団法人日本投資顧問業協会「統計資料」より大和証券グループ本社作成 *5 2024年度

ウェルスマネジメント部門：家計金融資産の将来予測

インフレ環境下、証券ビジネスは大きく成長するポテンシャルを有する

【試算の前提】

- 大和総研の「大和中期マクロモデル」の推計値を基に2033年度まで予測し、2034年度以降は「大和中期マクロモデル」の伸び率の平均値で延長。
- 以下の図の構成商品は、2024年3月末時点の家計金融資産の割合を横ばいで仮置きしつつ、**2025年度以降の有価証券は、時価要因と資金純増要因を合計して年平均で5.68%（金融資産対比+3%）で成長すると共に、年平均で現預金の0.5%が有価証券へシフトすると仮定**



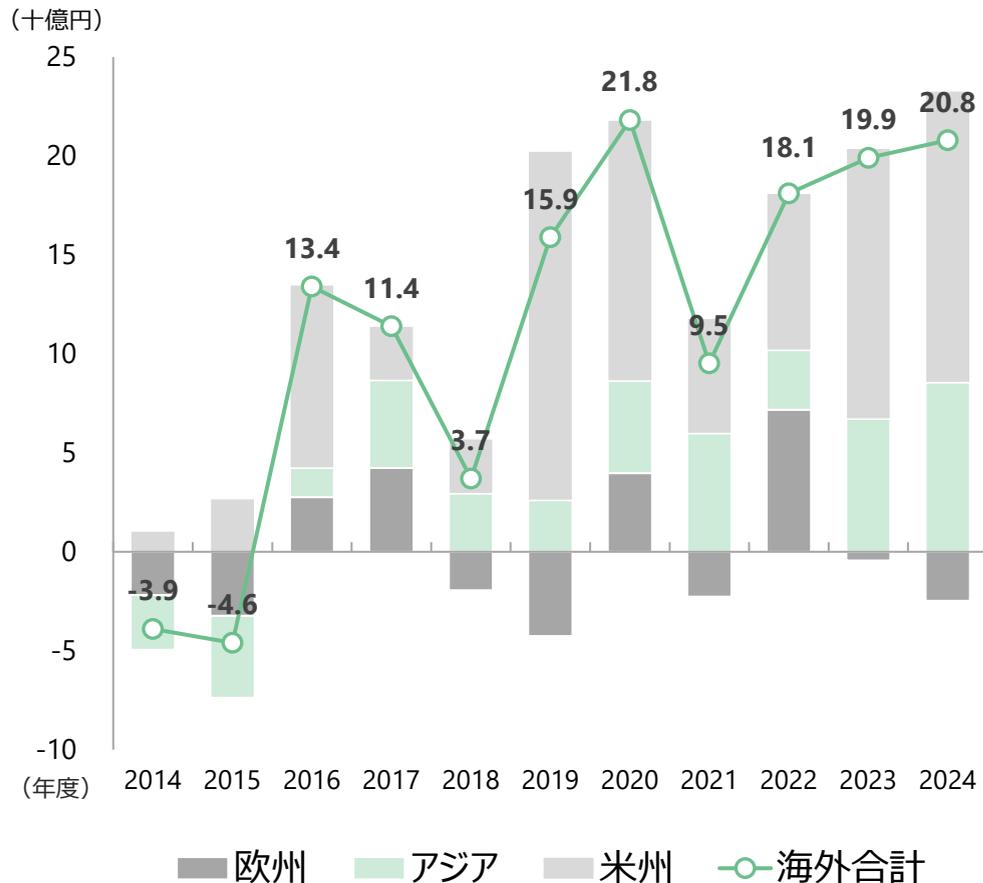
NISA制度

非課税投資枠が拡大し、保有期間も無制限に

	つみたて投資枠	成長投資枠
年間非課税投資枠	計360万円	
	120万円	240万円
非課税保有期間	無期限	
投資可能期間	恒久化	
非課税保有限度額（総枠）	1,800万円 (うち成長投資枠としての利用は1,200万円まで)	
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した 一定の投資信託	上場株式、投資信託等*
投資方法	積立	スポット・積立
売却した場合の扱い	翌年以降、非課税枠の再利用が可能	

競争優位性を見極め、経営資源のアロケーションを最適化

海外ビジネス 経常利益推移



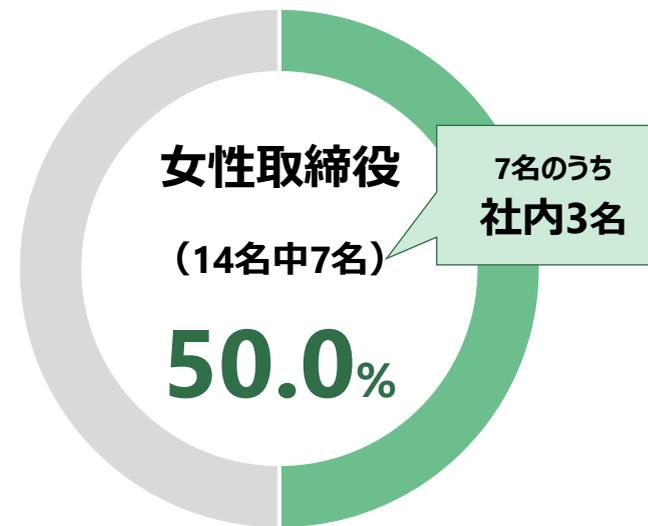
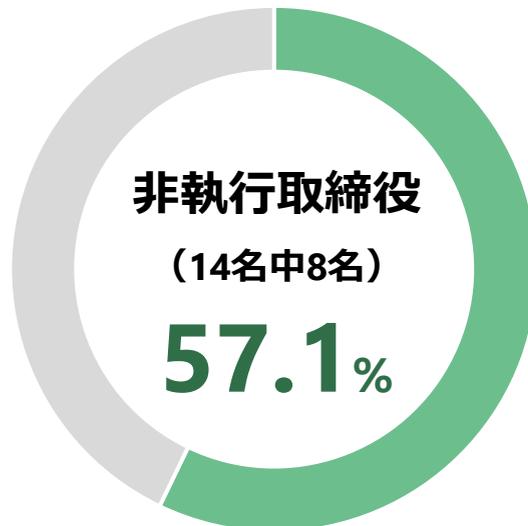
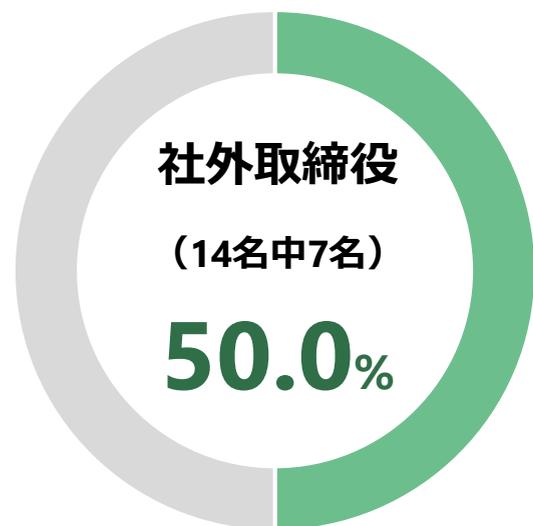
地域別戦略の方向性

米州	<ul style="list-style-type: none"> 強みであるFICC*1を中心とした既存ビジネスの収益力最大化 米国株でウェルスマネジメント部門との協業強化
欧州	<ul style="list-style-type: none"> シンプルで効率的な業務運営体制を実現し、安定的な利益を創出 M&A関連収益の伸長
アジア・オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> アジア地域全体での日本株プロモーションを強化 WCS*2ビジネスの強化とアジア地域での基盤拡充
中国	<ul style="list-style-type: none"> M&A分野でのグループ連携強化

コーポレート・ガバナンス

取締役会に占める女性比率は、50%

第88回定時株主総会（開催日：2025年6月20日）可決後の取締役会構成



外部評価



指数への組み入れ等

GPIFが選定するESG国内株式指数すべてに選定



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数



MSCI
Selection Indexes
Constituents
2025

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index



FTSE4Good

20期連続採用

Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index
(旧称 : Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index)

1999年の指数創設以来 連続採用

アナリストランキング (大和証券)

日経ヴェリタス (株式編)
2025年アナリストランキング

2位

日経ヴェリタス (債券・為替編)
2025年アナリストランキング

3年連続1位

Extel's 32nd annual Japan Research
Team Survey (2025年)

3位

外部評価



✓ MSCIの最上位ランクであるAAAを
3年連続獲得



✓ 気候変動対応における世界の先進企業として
CDPの最高評価「Aリスト企業」に選定

ESGレーティング



大和証券グループ本社 経営企画部IR室

E-mail: ir-section@daiwa.co.jp

URL: <https://www.daiwa-grp.jp/ir/>